

KSKQ

ゆうとおん

通信

一九九一年 九月三日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・五・六・八の日) 発行

定価 500 円

NO.132

2024 年 4 月号

郵便振り込み口座 00910-9-106532

編集人 (社福) ゆうとおん通信 編集委員会 八尾市久宝園 2-30-4



本人紹介：中永 龍 星さん
2003 年生まれ。20 歳。八尾支援学校
卒業後、2022 年 4 月からゆうとおんほーぷ 2 階軽作業班・かりんとうに在籍。
軽作業・かりんとう作りといろいろな
仕事に取り組まれている。

今回は、ゆうとおんほーぷの中永龍星さんです。現在は、かりんとう作りに内職・段ボール回収など沢山の仕事に取り組んでいます。リュックサックには、好きなマリオのキャラクターがパッチワークしてあります。そんな中永さんにお話をうかがいました。

◎ほーぷについて
(藤本) 好きな仕事は何ですか。
(中永さん) かりんとうの作業が一番好き。
(藤本) かりんとう作りではどういったことをしていますか。
(中永さん) 型押ししています。力いっぱい押しています。
(藤本) なぜ、かりんとう作りが好きなのでしょう。
(中永さん) いろんな人が買ってくれるから好きです。おいしいと言われたりすると嬉しいです。
(藤本) おすすめ・好きな味はありますか？

ここで、生きる シリーズ No.26

(中永さん) 砂糖味が好きです。
(藤本) 他にかりんとうで伝えたいことがありますか。
(中永さん) T 職員好き。かりんとうたくさん買ってくれるので。
(藤本) 他にほーぷで好きなことはありますか。
(中永さん) バンドに行ってる。
(藤本) 担当は何ですか。
(中永さん) タンバリン叩いています。
(藤本) 皆の前で演奏したいですか。
(中永さん) したいです。みんなの前で演奏したい。
(藤本) 笑顔でほーぷの話をされますね。
(中永さん) 照れた表情…。
◎休日の過ごし方好きな物。
(藤本) 休みの日はどのように過ごしていますか。
(中永さん) 家族と映画観に行ったり、お出かけしています。家でゆっくりとすることもあります。
(藤本) 家では何していますか。
(中永さん) ユーチューブ、スマホで観ています。ポケモン観たりしています。ゲームもします。スイッチでマリオやってる。
(藤本) リュックサックマリオのキャラクターでいっぱいですよ。
(中永さん) 好きだから。
◎聞き手からコメント
計画相談担当になって 1 年と少しですが、初めの頃は緊張されているのが伝わりましたが、1 か月程度で色々とお話してくれるようになりました。私だけでなくたくさんの職員とお話されているように思います。

(聞き手) 相談支援 藤本

ゆうとおん全体研修～『虐待防止研修』

日時：2023年12月15日(金) 会場：はーと2階食堂 (オシライシ形式併用)

講師：東大阪大学こども学部こども学科 潮谷光人教授

”虐待防止“は私たち障がい者福祉に携わる者にとって最も大切で気を付けなければならない永遠のテーマと言えます。それだけに、虐待に関する研修は、すべての社会福祉法人が雇用する者全員に対し定期的に研修を受けさせることが法的に義務付けられているのです。したがって、この『虐待防止研修』は年5回ある全体研修の中で唯一、任意ではなく職員全員が受講いたしました。講師は昨年に引き続き東大阪大学の潮谷光人教授をお招きしました。昨年度の虐待防止研修以後、「ぜひ次回も」という職員の声の絶大で、再度ご登壇いただきました。

虐待に関しては、世間一般でニュースに出るような暴力や、あからさまな暴言による虐待であれば我々ゆうとおんの職員は絶対にやっていない、と自信を持って言うことができます。しかし昨年もそうでしたが、潮谷教授の研修を受けることにより「知らず知らずのうちにサポートがしやすいように当事者を誘導していないか?」「当事者が何も言わないのは納得しているのではなく、単に怯えているだけではないのか?」「この人には何を言っても無駄だ、と思われていないか?」「ついつい先生が生徒に指導するような物言いになっていないか?」など、次々と自問自答させられ、考えさせられました。

その他、虐待防止のためには職員間で上下関係なく意見が言いやすくコミュニケーションが取れている事もとても大事であるとの事で、この研修でも職員間でグループワークが行われ、活発に意見を交換しました。今回の虐待防止研修を受けて、当事者の方々は社会からの差別や無関心、教育機会の損失、放置などによる有形無形の虐待を受けてきたことで意思表示が苦手にならざるを得ない環境にいるのだ、と改めて思いました。そして私たち職員は当事者の『思い』を表す『サイン』を決して見逃すことがないように、いつも真摯に向き合い、寄り添うことで、虐待防止、虐待撲滅に努めていかねばならない、それが私たちの使命なのだ、と思いを新たにしました。

ほーぶ 佐伯 透

2023年度ゆうとおん全体研修『メンタルヘルスケア』

2月8日木曜日、精神科医の胡桃沢伸さんをお招きし「心の健康法」について話をさせていただきました。これまでのような支援の在り方や考え方といった内容の研修ではなく、支援員が仕事をしていく中で抱えるストレスや疲れなどに焦点を当て、どのように対処していくのかといった、非常に興味深い内容の講義でした。

誰もが日常の中、多少の差はあれ我慢を強いられストレスを感じます。仕事では尚更無理をしがちで、「SOS」を出すことも弱音になると思ってしまう。そんな中、「仕事3割 家族3割 自分3割」の黄金分割の話は目から鱗でした。実践出来ずとも救われた気持ちになりました。自分自身と向き合うことは意外と簡単そうで、実は現実から目を逸らしているのだろうと感じました。この研修をどう生かしていくか、やっぱり仕事3割なんて無理に決まってるやん等と葛藤しつつ、自分を大事にすることが一番良い意味での「自分勝手」であり、それを目指そうと自分勝手に思っていました。

色々と考えさせられた研修でした。

うえーぶ ささきけかず 佐々木繁一

みんなでできる会 活動報告

ピープルファーストおおさか かい き
P F 大阪会議やゆうとおんねんまつりなど大きな行事が終わった後も、様々な
活動をされています。今回はその中から**優生保護法の署名活動、大空へはばたこう**
D V D 上映会についてお伝えさせていただきます。優生保護法の署名活動では、
 当事者の方が直接、各事業所やグループホームに行き保護者の方々と職員、
 当事者の方たちに自分たちの言葉で署名の必要性を訴えられました。「大空へはばた
 こう」の D V D 上映会では、ポスター作製、司会などの担当を決めて実施しました。
 支援者として、当事者の方と共に様々な活動に参加し、みなさんの考えや、やりたい
 こと、やってみてどうだったかなど聞くことができました。今年度からはみんなで出し合
 った「困っていること」についての勉強会を開催する予定です。(スケジュールもみんなで
 話し合っ決めてました)その他、昨年度を振り返って、楽しかったことや今年度やってみ
 たいことなどたくさんのお話をすることができたので、機会があれば皆様にお伝えしたい
 と思います。
 最後にりましたが、優生保護法の署名に、ご賛同、ご協力くださった方々、ありがと
 うございました！！合計で101名の署名が集まり、当事者の方と共に署名を届けに行
 きました。



ポスター作成中～



力士の方たちと記念撮影



大空へはばたこう上映会



真剣な表情で
腕ずもう

めいしかい
名司会！！



署名ありがとう
ございました



★今年の宣言★

パン生地成形作業を
もうちょっと出来るように
頑張りたいです。

藤本圭一

★今年の宣言★

日曜日ななるべく
外に出かけるようにする
(雨がいいな)

山本有美

★今年の宣言★

おみものをかいてはる
いれたい

★今年の宣言★

仕事は毎日行く、毎日働く
阪急北、和歌山、京阪ホリゾ、
JR7ジョウビカ、京北高速バスツカリン

松嶋陽菜

★今年の宣言★

日曜日も行くに

みんなと行くぞ

佐川麻華

★今年の宣言★

↑このかん
たべたい
かき

これだけはいいたい！

★今年の宣言★

ゲームもかんはります、
おもしろい
津田律郎

★今年の宣言★

人のことは、きいてあげたい

田島

★今年の宣言★

おもしろい
かき

《今月のPHOTO》

～はーと厨房職員のみなさん～



やまと 大和さん ひらしま 平島さん たかやま 高山さん



うすい 碓井さん にしなか 西中さん

はーとより、新年度を迎えて、
新しい年度がスタートしました。はーとでは新しい職員 安井 仁さん・森本 美奈さんを迎え、気持ち新たに今年度も多くのひとに
なればと思います。障がい福祉を取り巻く環境は大きく変化している
様に思います。福祉サービス利用が当たり前の時代の中で、周りには数
多くの事業所が存在する中、ゆうとおんもその中のひとつの事業所
として、選ばれる対象です。児童のサービスでは第3者評価制度も取り
入れられ、今後成人のサービスも評価制度が始まるかもしれません。福
祉に関する職種は他の業種とは異なり、そこで働くひとり一人の人の
や個性が大切だと思います。毎日顔を合わせる中で築き上げられる関
係性こそ、この仕事の大きな意義だと感じています。そういった意味で
の温かい、家族とはまた違った居場所でありたいと思っています。はーと
では色々な人が働いています。それぞれの役割は異なりますが、み
んなはーとの一員です。普段の作業や行事でたまに交流する、顔を合わ
せる頻度は、多少差はありますが、声を掛け合って協力し合えればと
思います。今年も一年怪我無く健康に過ごせたらと思いますので、引き
続き皆さまの温かいご支援とご協力よろしくお願い致します！。

いつも美味しい昼食を作ってください、
ありがとうございます！（感謝）



ゆうとおんほーぷ



これまで 2部制にしていた 給食を全員で食べ始めよ

うと検討中です。食卓の並びを変え椅子も増やし

準備万端！にぎやかな食堂が楽しみです。



ほーぷ食堂の様子



段ボール回収



式秀部屋交流

やおきたこうこう がくせいしょくどう
八尾北高校・学生食堂

ほーぷの 前にある八尾北高校。ゆうとおん

は、その学生食堂を委託されて運営して

います。昼休みの食事時には、お腹を空か

せた生徒たちの列ができるほどの、なくてはな

らない食堂になりました。はーと・うえー

ぶ・ほーぷの垣根を超え、みんなが主役の働

く場を目指して、これからもやっていきたいと

思います。やる気のあるひと、募集中

ほうこく ご報告

2023年秋に開催し、

大盛況に終わった「ゆうとおんまつり」ですが、

開催にあたって費用の

一部を大阪生活

サポート協会さんから

の助成金で開催することができました。ご

支援ありがとうございました。



やおきたこうこうしょくどう えーす
八尾北高校食堂のエース



～ゆうとおんうえーぶは 2024 年 1 月から 3 月、建物大規模修繕を行いました～

2009 年 7 月の開所から 15 年余り、うえーぶの皆さまと共に在った施設建物ですが、国庫補助金を受けて大規模修繕を行いました。長く安全に過ごせる建物として生まれ変わりを新たなスタートが切れたこと、関わって下さった全ての方に感謝の思いでいっぱいです。

4 月 29 日、5 月 3 日には法人内でお披露目会を開催しました。これからも、皆さまに気軽に立ち寄って頂ける事業所として活動をして参りたいと思います。

2024 年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



うえーぶ正面から



内職班



屋上



集合写真



エンブレム文字表札

人事異動のお知らせ

2024 年度、は一とより前田 裕 が管理者(施設長)として着任します。なお、松野香織は、のびやか(相談支援)の管理者に移ります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。またクッキー班に支援員として、は一とより土屋優里香が異動します。新しくなったうえーぶでも、みんなで支え合いながら楽しく過ごさせていきますよう、よろしくお願い申し上げます。(前田より「ゆうとおんでこれまで 5 年、グループホームと(すもーる)は一とで支援に関わらせていただきました。うえーぶに少しでも早く慣れるよう努力します。みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます」)

わらゆんのNEW FACEのごしょうかいです!

はい ねん かげつ たけもと
ゆうとおんに入ってから、4年9カ月になる竹本です。

じどう りょういく ねん となり ひらのく むにんかさぎょうしょ ちいきかつどうしえんせんたー しゅうろう
児童の療育を7年、隣の平野区で無認可作業所・地域活動支援センター・就労

けいぞくしえんぴーがた いこう ねんかんむてんか つく
継続支援B型と移行しながら、23年間無添加のおかき・あられを作ってきました。

い かお なまえ いっち めんばー しょくいん
ゆうとおんでは、ずっとほーぷに居たので、顔と名前が一致しないメンバーさん・職員

へるばー ふく おおく ぐるーぷほーむ かんりせきにんしゃ
(ヘルパーも含めて)がすごく多く、グループホームのサービス管理責任者として、でき

はや おぼ おも ねが
るだけ早く覚えられればと思います。よろしくお願いいたします。

「たのしかったね、BBQ大会」

さんがつさいご にちようび ぐるーぷほーむ めんばー
三月最後の日曜日。グループホームのメンバーたちによるBBQ大会が
開かれました。焼きそばにフランクフルト、特注のお肉を口いっぱいには
おぼりながら、久しぶりに会うメンバーさんとおしゃべりに花を
咲かせていました。恒例のビンゴゲームは、みんな必死で番号とカードを
にらめっこ。景品当てに盛り上がっていました。





ことし ふゆ あたた ふゆ め さ さくら がう
 今年の冬は、暖かい冬だったので、なかなか目を覚ましてくれない桜たち。3 月
 げじゅん はいきんぐ おとず せわりてい さくら
 下旬ハイキングで訪れた背割堤の桜たちもつぼみのまま…。メンバーさんたちは、
 さくら い さくら はなみ たの
 桜ないやんか～と言いつつも、桜のない花見を楽しみました。次回のハイキング
 は、1 年に 1 回のお疲れ会の予定です。

れいわ ねんど せきにんしゃ か
 ＊令和6 年度より、ぼちぼちいこかの責任者が変わります

みな ぞん おそ まつだ けんた せいたい しょうかい
 皆さんご存じかと思いますが、あらためまして、松田 健太の生態をご紹介します。

じぶん みの まわりは、きれいにしないと落ち着かない。

そと ずか ざつぜん ばしょ す つるはしえきこう かしたしょうてんがい
 外に出掛けると雑然とした場所も好き。鶴橋駅高架下商店街とか。

もとたいいくかいはい こうこう やまやうぶきやうてん しめかいじん
 元体育会系。高校は野球部キャプテン。社会人サッカーもやっていた。

ちやうがく ねん ぎたー ながねん やりてい 割に じやうたつ
 中学1 年からギターをやっている。長年やっている割に上達しない。

ウンがきらい。

かんしやう せきにんしゃ まつだ けんた
 干渉するの、されるのも好きではない。

ひかんてき らっかんてき げんじつてき かんが けい
 悲観的でも、楽観的でもない。現実的にものを考える方。



責任者→松田 健太

ガイド窓口→国本 亜季美

通院窓口→阪上 明里



そうだんし えんじぎょうしょ
相談支援事業所 のびやかより

まつだ けんた
松田 健太

こんかい わだい おも くに じゃーなりすと かいとう じぶん しごと なか かくこうもく じゅうようせい
今回の話題は、主な国のジャーナリストの回答（自分の仕事の中での各項目の重要性）になります。

(出典：The Worlds of Journalism Study・Country reports - WJS2)

項目	米国	英国	フランス	ドイツ	ロシア	中国	日本
事実をありのままに伝える	98.3	93.0	96.5	90.7	78.7	83.8	65.1
読者・視聴者を教育する	92.7	78.7		57.4	75.4		
人々の政治的意思決定に必要な情報を提供する	88.8	37.0	67.9	56.2	42.3	46.3	83.0
政治リーダーを監視・精査する	86.1	48.1	56.1	36.3	28.5	40.7	90.8
人々が意見を表明できるようにする	76.6	53.9	72.1	46.9	59.2	59.8	24.3
世界に関する話を伝える		64.9		57.3	61.8		
客観的な観察者である	75.5	76.8	77.6	82.5	61.3	64.4	44.1
ビジネスを監視・精査する	69.3	58.6	45.0	34.2	23.8	40.5	62.9
時事問題の分析を提供する	63.7	67.2	77.7	83.5	63.3	70.8	84.7
最も多くの読者・視聴者の興味を惹くニュースを報じる	53.2	45.4	21.1	73.5	66.2	62.4	39.2
寛容と文化的多様性を促進する	51.0	46.7		66.7	58.2		
人々に政治活動への参加を促す	46.0	18.1	39.9	44.9	39.2	34.1	48.7
社会変革を提唱する	29.6	28.8	21.4	29.5	66.2	45.2	31.6
エンターテインメントやくつろぎを提供する	29.0	49.9	11.8	51.4	24.9	38.6	25.3
日常生活への示唆・指針・指示を提供する	26.0	25.8	29.7	66.1	66.4	66.4	39.2
世論に影響を及ぼす	19.0	23.7	15.4	22.7	45.4	58.2	43.1
政府の敵となる	18.2	9.4	0.5	19.9	17.2	25.0	10.4
国の発展を支援する	13.7	20.2	18.1	13.3	51.9	68.7	45.6
政治的アジェンダを設定する	11.3	15.1	15.0	9.8	18.2	29.0	60.5
政治的リーダーのポジティブなイメージを伝える	3.9	2.1	1.0	0.6	10.3	48.8	1.1
政府の政策を支持する	3.6	1.2	1.5	0.4	11.3	53.3	0.8

すうじ たか あか じゅうよう かん にほん
数字が高いほど（赤くなるほど）重要だと感じているということなのですが、日本のジャーナリストは

☆事実をありのままに伝える

☆人々が意見を表明できるようにする

☆客観的な観察者である

じょうき こうもく とっしゅつしてひくい よ み と れ
上記の項目が突出して低いことが読み取れます。

ジャーナリストだけが特別な日本人だということはありませんので、上記の結果には日本人の国民性みたいなものを
はんえい すいさつ よ かた すこ じじつ せいじつ
反映しているのだろうと推察されます。ジャーナリストと呼ばれる方たちには、もう少し『事実』に誠実であって
ほ ねが いっぽう じぶんじしん しごと じぶんじしん つごう よい かいしゃく つた つね
欲しいと願う一方、自分自身の仕事において、つい自分自身に都合の良い解釈で伝えていないか、常にそのことを
いしき どうじ と おも
意識しているか、ということも同時に問われているように思います。

らいねんど そうだんしえん かんりしゃ まつの
そんなこんなで、来年度より相談支援の管理者を松野さんにバトンタッチすることになりました。

☆松野さんからのメッセージです。

2024年度より、のびやか（相談支援）の管理者を務めさせていただきます。ゆうとおん入 職から相談支援専門員として
みな とも かつどう じかん なが いろいろ こと いっしょ かん てつだ いただ うれ おも
皆さまと共に活動した時間も長く、またこれから、色々な事を一緒に考えお手伝いさせて頂けることを嬉しく思い
ます。どうぞよろしくお願いいたします。

まつの かおり
松野 香織

とうせいさきようしよじしやう
 当世作業所事情 94 畑健次郎

—— あいまいさを生きる ——

この4月3日、障害当事者を主体にしたグループである「みんなできる会」が、後見人制度の学習会を持ちました。私も初めて参加させてもらいました。資料には後見人制度のメリットが簡略に紹介してあります。その説明の中で気になったのは、一度後見人が決まると原則として解任できないという下りでした。なぜなのか、少なくとも私には、納得のいく説明ではありませんでした。

先般、大阪家庭裁判所（2022年9月）に対して、Mさんが実姉であるYさんに対して後見人解任申立書を提出した事は、この欄でも既にお知らせした通りです。解任申立は認められず、その代わりなのか、後見人が一人追加という奇妙な判定が下された事もお伝えしました。問われた事に対する判断を示さず、適当にお茶を濁し、後はよきにはからえという手抜き裁決でした。

もう一人の後見人に指名された「さんには、せめて現状をありのまま認めてほしいと談判しました。『後見人は現状を理解して、それなりに動いてくれました。しかしYさんとの合意が取れない事を理由として、この一年、ゆうとおんとの関係は何一つ改善されていません。』

ふたり 二人の後見人の合意がなければ、何も進展しないという事であれば、今後も期待することはできません。

学習会の話に戻ると、当事者であるMさんは自分のお金をお姉さんが一方的に取り上げている事に抗議しています。お金があればやりたい事の一つにスマホの購入を挙げました。今もホームの携帯を使っていますが、仕事用です。から使用については一定の制約があります。Iさんによると、Yさんは「電磁波による危険を避ける為」に持たせないと言っているそうです。それは一つの理屈として分らないくありません。しかしホームの携帯を使っているのは知っているはず。ホームの電話を使わせるのもやめさせろ」というのなら、まだ一貫性もあるでしょうが。

Mさんは学習会に参加している当事者に問題を投げかけます。お姉さんがおかしいという人、なぜスマホが欲しいのか、きちんと説明したらいいのではないかとアドバイスする人等、いろんな反応がありました。それにしても、いわゆる健常者である姉が当人の意思を無視して下す一方的な判断を強く糾弾する発言はありませんでした。そういう「やさしさ」の上に健常者の世界が築かれている事を、私達は何となく強く自覚するべきだと改めて痛感します。

5日、金曜日の朝、起きると少し身体が重たく感じます。

大した事はなさそうですが、明日はガイドの予定が入っています。明後日はグループホームの泊まりです。

もしもということもあるので、受診しました。なんとコロナの陽性判定。脳梗塞で倒れた時もそうでしたが、いつ何が起るかわかりません。ふとKさんのことを思い出しました。Kさんはある時、倒れて車椅子生活になりました。そして、それから何年かして、ゆうとおんにやってきました。口数は多くありませんが、気さくで淡々としていました。正月休みも終わりという日に、Kさんの住処に行きました。紙バックの2リットル入り「鬼殺し」が置いてありました。飲み仲間が時々、訪ねてくるそうです。今は家を出て居ないけれど、盆や正月には娘が孫を連れて帰ってくるそうです。前日に帰ったところだと言っていました。Kさんは倒れるまでとび職でした。現金収入は結構あったようです。沖縄海洋博の建設現場にも出稼ぎに行くと、少し自慢気でした。当時、海洋博には私も行きました。私の場合は抗議デモに参加する為に出かけたのですが、同じ時期に同じような景色を高い所から見ていたKさんと、よく知らない土地をウロウロしていた私は、どこかで会っていたかも知れません。これもなにかの縁、少し懐かしく感じました。

Kさんは私より一つか二つ上の同世代でした。ある冬、体調を崩して入院しましたが、もうすぐ退院という時で

した。お医者さんは「誤嚥性の肺炎を起こしたので、もう少し入院が必要」とあつさり宣言しました。それからしばらくしてあの世に旅立ってしまいました。葬儀に家族は来ませんでした。その後、息子さんに会う機会がありました。親父は酒を飲むと手が付けられなかった。家族で相談してある日みんな逃げ出した。それ以来、家族の誰も親父の家に近づく事はなかった」と言います。Kさんは事情を知らない私に願望を語ったのか、それとも彼の意識の中では、娘も孫も確かにその場に実在していたのか、今となっては知る由もありません。

さて、医療機関で渡されたチラシに載っている八尾市のコロナ専用相談窓口で電話してみました。すると電話の向こうから、3月31日で窓口は閉鎖されましたという録音なが流れてきます。それではと大阪府の専用窓口で電話してみました。まったく同じ答えが返ってきます。もともとあてにしていなかったからいいようなのですが、コロナによる死者数は日本一だったのに、その反省はどこへやら、大阪の引き際の速さには呆れます。府民の生活も、暮らしのための税金も、自分達の消費対象としか考えていない政治家の「自己責任」はどこへ行ってしまったのでしょうか。

12日には立场上、私が責任者を務める虐待防止委員会が開かれました。そこに出てきた意見は「正しい」

のかも知れませんが、私の中にはもやもやしたものが残っています。

たとえば自分が働く店にお客さんがやってきたとします。「いらつしやい」と言葉をかけても何の反応もありません。その時、マニュアルで笑顔を演じる人はあまり気に留めないだろうと思います。職業上のスキルを行使しただけですから。

しかし挨拶一つにも個々の人間関係のありようを感じ、考える人は、挨拶という行為に対する無反応に混乱するかも知れません。短い言葉のやり取りにすら、相手の人間性を手繰り寄せようとしてしまうから。

福祉が「職業」になった時、そこにやってくる障害当事者が職員を「無視」したとしても、「無視」で返す事はできません。そこは障害当事者にとつて開かれた空間として位置づけられている場所です。開かれた場を維持する役割の人間が、場を閉ざしてしまうような行為に及ぶ事は許されません。しかし「虐待」が疑われる状況があつたとしても、一個人としてその人が差別的かどうかという問題はまた別です。差別的な心性の強い人でも、ちよつとしたスキルと、それなりの自己コントロールさえできれば、なんとか勤まるのが福祉業界です。事態も人間も制度も絶えず曖昧さを含んでいます。「悲しい色やね」となるのか、「だからおもしろい」と思えるのか、案外、仕事を続けていけるのかどうかの分かれ道かも知れません。

遠藤槇夫さんへ

ありがとうございます

何年か前に体調を崩すまで、理事としてゆうとおんを支えていただいていた遠藤槇夫さんが、本年3月7日に他界されました。9日にお通夜があり、10日が告別式でした。参列者が彼の思い出を語るといふ形式で進められた式は通常の葬儀と少し趣を異にしました。親しかった人達が語る遠藤さんのエピソードは、いかにも私達の知る遠藤さんに相応しいものでした。

遠藤さんはまっすぐな人でした。そして言葉にはぬくもりがありました。組合活動も地域の活動もその調子でみんなの信頼を得てきたことは想像に難くありません。通信労働者としての歩みを重ねてきた遠藤さんに、ある時、グループホームの宿直をお願いしました。当時私たちはYさんの地域での生活をどう支えていこうかと四苦八苦していました。しばらくの時期、ホームに力を貸してもらえないかと頼み込みました。こうして毎週定例でYさんのホームを担当していただくことになりました。

優しさとこわもてのバランスが絶妙な遠藤さんには、Yさんも一目置かざるを得ませんでした。

2/27式秀部屋とゆうとおんの交流会の報告

2/27(火)に、大相撲春場所で萱振町の恵光寺さんに滞在されていた、式秀部屋の力士の方とゆうとおんの交流会がありました。当日は、決める会の宮野さん、寺田さん、宮田さんの進行のもと、力士の方と質問コーナー、腕相撲大会、激励のメッセージなど、会場はたいへん盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。交流会後は3人が自分たちの働く作業所の中を案内されて、仕事の説明をされました。式秀部屋のみなさん、ありがとうございました。また来年も楽しみにお待ちしております！



ゆうとおん協力会費へのご協力ありがとうございました。

2024 年度への繰越金 **9.443.267 円** 2023 年 1 月～2024 年 3 月末協力会費 **1.428.654 円**

◇会計処理は年ごとにしておりましたが、今回より年度締めで報告させていただきます。

●協力会費を頂いた方々（敬省略）

秋田貴久子 秋田英久子 新垣康男 荒井和可子 ありありすデッサン教室 池田由紀子 伊藤章子
稲垣寛子 五十里元子 内田雅裕 内田健太 鶴川雅基 宇都雪人 浦の信雄 浦の良二 大岡照代
大下池恵子 大音英子 岡田房江 岡崎和佳子 岡村みな子 小倉一郎 小崎由美 小崎美代子
梶浦ひとみ 鎌田 川原邦夫 河端利雄 考える会 北浦加代子 喜友名奈津子 桐生佳子 熊田佳希
栗本克彦 甲田恭子 小林俊介 小林和弘 小林憲司 小松悦子 金野昌子 佐々木美千代 下村啓子
小路梨恵 庄野久子 白熊工務店 末光道正 鈴木浩昭 高垣純江 高安イツ子 滝沢厚子 竹井敢貴
竹田幸子 竹中文太郎 田島涼太 橘田まゆ子 田中誠太 田中正和 田中百枝 谷口圭一 谷口恵美子
地域ネットクレンド 辻村真嗣 辻本亜希子 土橋恵子 津田健一郎 鶴山忠 出口陽子 テラエナジー
長井豊子 中西友子 中西政信 中野栄子 中村祐実 中村美幸 西江尊徳 パーティパーティ 朴愛子
畑健次郎 林千恵子 平田和美 窪田義廣 深町佳代子 福井克彦 福井笑子 福井志朗 福島正人
福島芳江 福田蓉子 福田和人 墳下智里 藤田敬一 藤塚真紀 藤松恵子 藤本壮一 前田裕 益山廣美
松井潤 松嶋陽菜 松田健太 松田晴代 松村孝 松村学 南伸樹 南泰子 宮野直子 宮本明男
宮崎弘子 宮島伸一朗 三輪由美子 桃井百合 森勇次 山川ひとみ 山口由香梨 山本良城 柚木琴音
吉川朝陽 吉武万喜子 ライスロジ大潟 鷺尾綾乃 和田優理子

社会福祉法人 ゆうとおん

本 部 / 〒581-0834 八尾市萱振町 2-133 TEL 072-993-0785 FAX 072-993-0784
ゆうとおんはーと / 〒581-0834 八尾市萱振町 7-68-1 TEL 072-926-6200 FAX 072-926-6199
ゆうとおんうえぶ / 〒581-0817 八尾市久宝園 2-30-4 TEL 072-926-1543 FAX 072-921-8883
ゆうとおんほーぷ / 〒581-0834 八尾市萱振町 7-73-2 TEL 072-927-1300 FAX 072-927-1301
スタコラハウス / 〒581-0802 八尾市北本町 1-1-11 TEL 072-995-4387 FAX 072-995-4387
メールアドレス / youtone@live.jp ホームページアドレス <http://www.eonet.ne.jp/~youtone>
年会費 / 1 口 2.000 円 振込先 / 郵便為替口座 00910-9-106532

発行人 / 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階 定 価 / 50 円